

〔薬局調剤〕

6 薬剤点数の状況

薬剤点数別件数の構成割合は、「500点未満」が一般医療67.6%、老人医療45.0%と、最も多くなっている。「500～1000点未満」は一般医療17.5%、老人医療23.3%、「1000点以上」はそれぞれ14.9%、31.7%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が多くなっている。

後発医薬品の出現した明細書の割合は、一般医療36.7%、老人医療47.3%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表18、図14)

表18 一般医療—老人医療—年齢階級別にみた薬剤点数別件数の構成割合（薬局調剤）

(単位:%) (平成15年6月審査分)

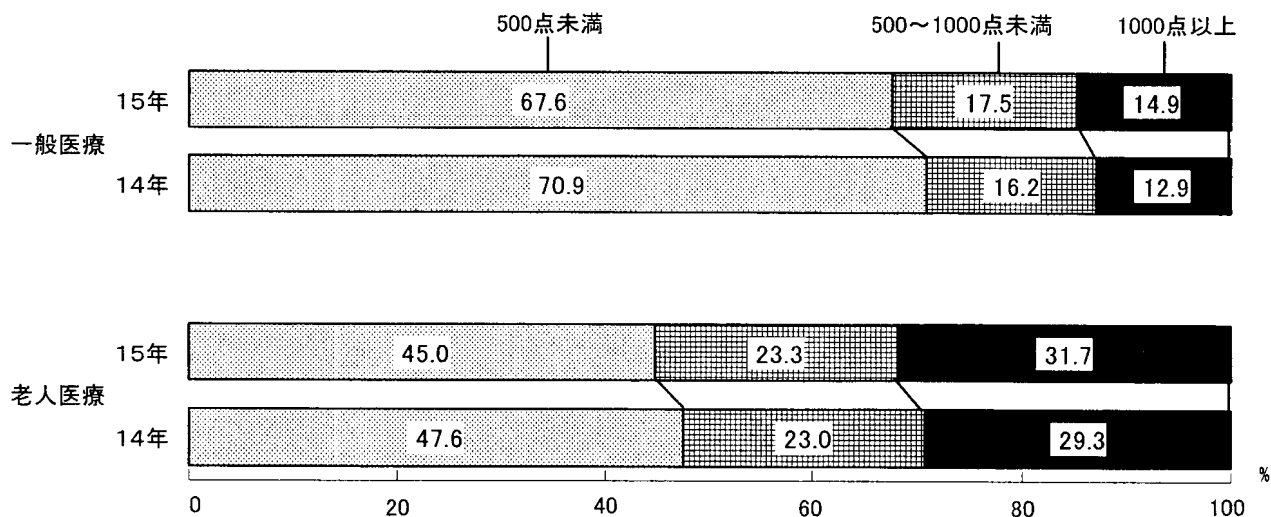
	総数	500点未満						500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	総件数に占める後発医薬品が出現した明細書の割合(再掲)	
		総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400	400～500						
総数	100.0 (100.0)	60.7 (63.7)	19.8 (21.0)	15.7 (16.7)	11.3 (11.9)	7.8 (7.8)	6.1 (6.3)	19.3 (18.3)	9.0 (8.5)	4.6 (4.0)	6.4 (5.5)	40.0 (36.7)	
一般医療	100.0 (100.0)	67.6 (70.9)	22.4 (23.9)	18.3 (19.5)	12.7 (13.1)	8.1 (8.1)	6.1 (6.3)	17.5 (16.2)	7.1 (6.6)	3.3 (2.7)	4.4 (3.6)	36.7 (32.8)	
老人医療	100.0 (100.0)	45.0 (47.6)	13.7 (14.7)	9.8 (10.5)	8.2 (9.2)	7.1 (7.0)	6.1 (6.1)	23.3 (23.0)	13.4 (12.7)	7.5 (6.9)	10.9 (9.7)	47.3 (45.5)	
年齢階級	0～14歳	100.0	88.8	38.8	23.9	13.5	7.8	4.9	8.2	1.8	0.9	0.4	48.0
	15～39歳	100.0	79.4	25.9	23.8	15.1	8.7	5.7	12.7	4.4	1.7	1.8	33.6
	40～69歳	100.0	56.6	15.8	14.5	11.6	8.0	6.6	22.0	9.9	4.8	6.8	34.2
	70～79歳	100.0	46.3	14.3	10.1	8.6	7.2	6.1	23.7	12.7	7.1	10.3	45.7
	80歳以上	100.0	43.1	13.3	9.3	7.6	6.8	6.1	23.4	14.3	8.0	11.2	50.3

注: 1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) ( )内は平成14年6月審査分

図14 一般医療—老人医療別にみた薬剤点数別件数の構成割合（薬局調剤）

(各年6月審査分)



## 7 薬価階級別薬剤点数の状況

薬価階級別薬剤点数の構成割合は、薬剤名が記載されており、その薬価が「250円未満」は、一般医療79.9%、老人医療86.1%であり、最も多くなっている。「250～500円未満」は一般医療8.3%、老人医療5.2%、「500円以上」はそれぞれ11.7%、8.7%となっている。

また、「薬剤名無記載」(所定単位当たりの薬価が175円以下で、明細書に個々の薬剤名の記載のないもの)は一般医療、老人医療とも0.1%となっている。

後発医薬品の点数の割合は、一般医療4.6%、老人医療5.3%となっており、一般医療に比べ老人医療の割合が高くなっている。(表19、図15)

表19 一般医療—老人医療—年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合(薬局調剤)

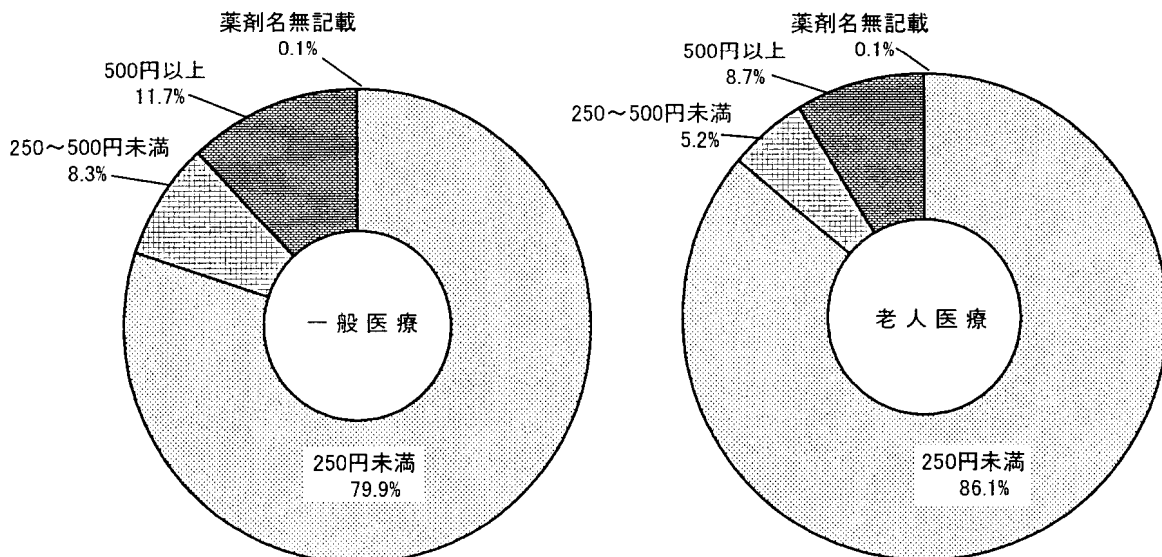
		総数	250円未満					250～500	500円以上	薬剤名無記載	薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合(再掲)	
			総数	50円未満	50～100未満	100～150	150～200					200～250
総数		100.0 (100.0)	82.5 (84.6)	31.5 (33.7)	23.3 (23.6)	10.4 (10.5)	11.5 (11.0)	5.8 (5.8)	7.0 (6.3)	10.4 (9.1)	0.1 (0.0)	4.9 (4.5)
一般医療		100.0 (100.0)	79.9 (82.9)	29.3 (31.6)	23.0 (23.5)	10.0 (10.4)	11.9 (11.6)	5.7 (5.7)	8.3 (7.2)	11.7 (9.9)	0.1 (0.0)	4.6 (4.1)
老人医療		100.0 (100.0)	86.1 (86.8)	34.6 (36.4)	23.7 (23.6)	10.8 (10.6)	11.0 (10.3)	6.0 (5.9)	5.2 (5.2)	8.7 (8.0)	0.1 (0.0)	5.3 (4.9)
年齢階級	0～14歳	100.0	70.6	22.0	19.8	21.3	6.8	0.7	15.8	13.4	0.1	7.3
	15～39歳	100.0	80.9	34.9	21.2	8.4	10.9	5.4	6.6	12.5	0.0	4.5
	40～69歳	100.0	80.8	29.0	23.8	9.1	12.6	6.3	7.6	11.5	0.1	4.2
	70～79歳	100.0	85.4	33.2	23.9	10.4	11.8	6.1	6.0	8.5	0.1	5.1
	80歳以上	100.0	86.8	36.9	23.0	11.5	9.7	5.8	4.2	9.0	0.1	5.7

注:1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) ( )内は平成14年6月審査分

図15 一般医療—老人医療別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合(薬局調剤)

(平成15年6月審査分)



## 8 薬剤種類数の状況

薬剤種類数別件数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「1～2種類」が最も多く、それぞれ41.5%、33.2%となっている。次いで一般医療では「3～4種類」、「5～6種類」、「7種類以上」の順となっており、老人医療では「3～4種類」、「7種類以上」、「5～6種類」の順となっている。

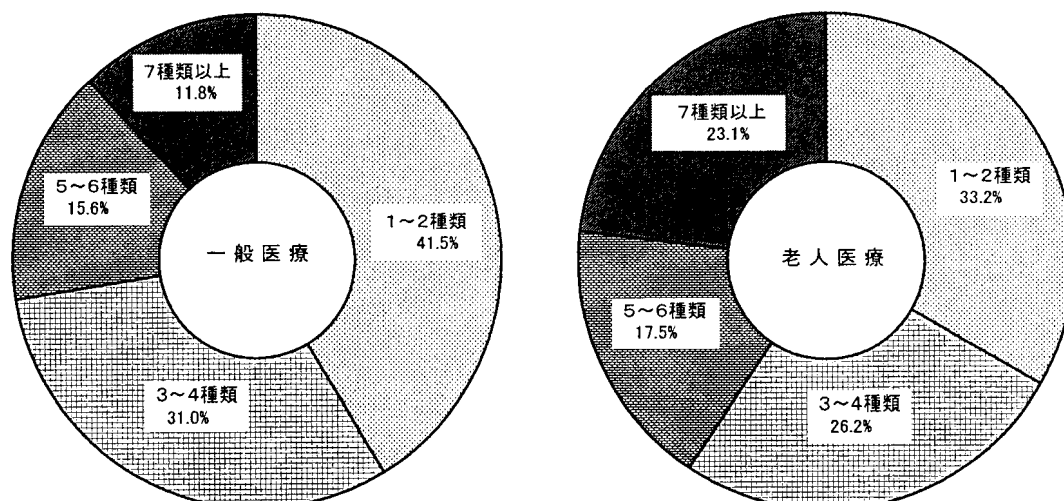
1件当たり薬剤種類数をみると、一般医療3.57、老人医療4.53となっている。(表20、図16)

表20 一般医療—老人医療—年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合、1件当たり薬剤種類数  
(薬局調剤)

(単位:%)		(平成15年6月審査分)											1件当たり薬剤種類数	
		総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数(再掲)	
総数		100.0 (100.0)	19.3 (19.1)	19.7 (21.1)	16.4 (16.3)	13.2 (12.9)	9.4 (9.2)	6.8 (6.8)	4.8 (4.6)	3.5 (3.3)	2.2 (2.4)	4.7 (4.5)	3.87 (3.82)	0.59 (0.52)
一般医療		100.0 (100.0)	20.9 (20.8)	20.6 (22.0)	17.2 (16.9)	13.8 (13.5)	9.3 (9.2)	6.3 (6.4)	4.2 (3.8)	2.9 (2.6)	1.7 (1.8)	3.1 (2.9)	3.57 (3.52)	0.52 (0.45)
老人医療		100.0 (100.0)	15.6 (15.2)	17.6 (18.9)	14.5 (14.8)	11.7 (11.5)	9.5 (9.2)	8.0 (7.6)	6.3 (6.3)	4.9 (4.8)	3.5 (3.5)	8.4 (8.2)	4.53 (4.47)	0.73 (0.66)
年齢階級	0～14歳	100.0	17.1	16.6	14.5	15.1	11.5	8.8	6.4	4.1	2.3	3.6	4.03	0.73
	15～39歳	100.0	21.3	21.0	18.2	14.8	9.4	6.1	3.5	2.3	1.2	2.3	3.40	0.46
	40～69歳	100.0	21.9	21.7	17.7	13.0	8.5	5.7	3.8	2.8	1.7	3.4	3.51	0.48
	70～79歳	100.0	16.8	18.5	15.5	12.2	9.5	7.5	5.7	4.2	3.0	7.2	4.28	0.68
	80歳以上	100.0	14.0	16.2	13.0	10.8	9.7	8.7	7.4	5.9	4.2	10.1	4.88	0.80

- 注: 1) 薬剤名無記載は、1種類としている。  
 2) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。  
 3) ( )内は平成14年6月審査分

図16 一般医療—老人医療別にみた薬剤種類数別件数の構成割合 (薬局調剤)  
(平成15年6月審査分)



## 9 薬効分類別にみた薬剤使用の状況

薬効分類別薬剤点数の構成割合は、一般医療、老人医療とも「循環器用薬」が最も多く、それぞれ24.7%、30.4%となっている。次いで一般医療では「中枢神経系用薬」9.5%、老人医療では「消化器用薬」11.2%となっている。(表21)

表21 一般医療－老人医療－年齢階級別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合（薬局調剤）

(単位:%) (平成15年6月審査分)

	総数	一般医療	老人医療	年齢階級					後発医薬品 (再掲)
				0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上	
総数	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中枢神経系用薬	9.2 (8.8)	9.5 (9.0)	8.7 (8.6)	2.2	17.3	8.6	8.5	9.7	5.8
感覚器用薬	5.1 (5.8)	4.6 (4.8)	5.8 (7.1)	5.5	4.8	4.4	5.5	6.3	10.0
循環器用薬	27.1 (27.1)	24.7 (24.6)	30.4 (30.2)	0.6	4.8	31.3	31.5	28.9	11.7
呼吸器用薬	3.5 (3.4)	4.3 (4.3)	2.4 (2.2)	20.1	4.9	2.4	2.4	2.4	7.1
消化器用薬	10.0 (10.1)	9.1 (9.3)	11.2 (11.1)	1.5	8.5	10.0	10.8	11.9	13.7
ホルモン剤	2.4 (2.0)	2.8 (2.2)	1.8 (1.8)	9.2	2.9	2.0	1.9	1.6	1.2
外皮用薬	4.7 (5.2)	4.3 (4.7)	5.3 (5.8)	4.1	7.2	3.7	5.1	5.5	6.9
ビタミン剤	2.7 (3.0)	2.0 (2.2)	3.7 (4.1)	0.1	1.5	2.3	3.5	4.2	21.6
血液・体液用薬	4.6 (4.6)	3.3 (3.3)	6.5 (6.2)	2.1	1.9	3.7	6.2	6.8	6.5
その他の代謝性医薬品	6.9 (6.0)	7.2 (6.2)	6.4 (5.7)	1.5	5.3	8.2	7.0	5.5	5.6
腫瘍用薬	4.2 (3.1)	4.7 (2.8)	3.5 (3.4)	-	0.3	6.1	3.9	2.9	1.6
アレルギー用薬	5.5 (5.6)	7.2 (7.4)	3.2 (3.2)	18.8	13.2	4.7	3.2	3.1	4.1
抗生物質製剤	3.9 (4.4)	5.9 (6.8)	1.3 (1.2)	29.3	10.1	2.4	1.2	1.3	0.9
化学療法剤	3.5 (4.1)	4.6 (5.9)	1.9 (1.7)	3.6	8.9	3.9	2.0	1.6	1.8
生物学的製剤	0.1 (-)	0.1 (-)	0.0 (-)	-	0.6	0.1	0.0	-	-
その他の薬効	6.6 (7.0)	5.7 (6.4)	7.8 (7.8)	1.2	7.8	5.9	7.3	8.3	1.7

注: 1) 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) 「総数」には、薬剤名無記載を含む。

3) ( )内は平成14年6月審査分

4) 「血液・体液用薬」は、生理食塩液等を指すもので、血液製剤は「生物学的製剤」に分類される。

5) 「その他の薬効」には、上記分類以外の「滋養強壮薬」、「泌尿生殖器官及び肛門用薬」、「診断用薬」等の分類を含んでいる。